

## 予防接種を受けて健やかに

1年半にわたって連載してきた予防接種のお話も、いよいよ最終回となりました。これまで予防接種全般、また個々にBCG、三種混合、ポリオ、麻疹風疹<sup>ましんふうしん</sup>、おたふくかぜ、水痘、日本脳炎、Hib<sup>ヒブ</sup>、肺炎球菌、インフルエンザのワクチンについて取り上げました。このほかにも、B型肝炎ワクチンや不活化ポリオワクチン、ヒトパピローマウイルスワクチンなど、皆さんに知ってほしいワクチンはたくさんあります。

日本の予防接種法では、ワクチンが定期接種と任意接種に分けられており、予防接種によって予防できる全ての疾患が対象になっているわけではありません。この数年でHibワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンの接種助成、麻疹風疹ワクチンの複数回接種などが始まりましたが、ほかにも制度変更や新規導入が望まれるワクチンはまだまだあります。予防接種の副反応が心配な人がいるかもしれませんが、これらの感染症に自然感染して重症化するリスクの高さも知っていただきたいと思います。予防接種の必要性や副反応は、「予防接種と子どもの健康」や市からのお知らせなどを読んでよく理解してください。また、かかりつけ医師の指示のもと健康状態がよいときに受けてください。

予防接種はどんな薬よりも多くの人命を救った、医学史上最大の革命です。ジェンナー、パスツール、北里柴三郎を始めとする研究者たちの努力の結晶であり、どのワクチンにも人々の健康を願う気持ちと未来への希望が込められています。予防接種は、親から、そして社会からの、子どもたちへのプレゼントなのです。

「健康都市」を目指す大和市で、皆さんと家族が必要な予防接種を受けて、健やかに過ごされることを願いつつ、今回の連載を終了させていただきます。

（このコラムは市立病院 病院総務課 電話（260）0111が担当しています。）